



【出題の意図】

設問でとりあげた事例集には、小学校高学年教科担任制のメリットとして、①授業の質の向上、②小中学校間の円滑な接続、③多面的な児童理解、④教師の負担軽減などが挙げられている（p. 3）。そして、「各学校や地域の実情に応じて①～④のいずれかに特に注力して取組を進めたりするなど、学校全体として取組を進めていくことができるよう、全ての教師が日常的な教育活動の中で趣旨・目的を咀嚼しやすくなるよう配慮し、工夫する必要」があると指摘している（p. 4）。

また、デメリットとして、①学級担任が全教科を教えることで実施できていた教科横断的なカリキュラム・マネジメントが行いにくくなること、②担当しない教科への当事者意識や指導力が低くなる可能性があること等が指摘されている（pp. 4-5）。

このようなメリット・デメリットを勤務校の状況に当てはめて整理し、それを踏まえた上で、勤務校で実施する際の工夫について記述することが求められる。特に、勤務校の状況を踏まえた利点や課題についての記述に基づいて、工夫が述べられているかが重要となる。